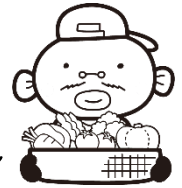




我孫子市 食育だより



～おいしく楽しく食事をしよう！～

「エコ」って何??よく聞く「エコ」を考えてみよう!

エコカーやエコツーリズムなど、色々なところで「エコ」という言葉を耳にしますが、実際どのような意味か知っていますか?

今年の4月にリニューアルしたクリーンセンターを例に考えてみましょう!ごみを処理するだけではなく、ごみを燃やした後のエネルギーで電気を作りクリーンセンターで使用する電気をまかなっています。さらにその上、余った電気を売却している「エコ」な施設です!

エコロジー
=環境にやさしい

エコノミー
=経済的

「エコ」には、環境に配慮した、地球にやさしい、という意味のエコ(エコロジー)と経済的な節約をするエコ(エコノミー)があります。環境と経済はつながっており、2つの「エコ」な取り組みにバランスよく取り組むことが大切です!

食とエコって関係しているの?どうやって取り組めるの?

「エコ」って難しい!と感じる方もいるかもしれませんが、身近なところから始められるエコ活動もたくさんあります!普段の買い物や食生活から取り組んでみませんか?

- ①食材をムダなく使い切る ⇒野菜の切り方を工夫する!芯や皮まで使う!
- ②自分で農産物を育てる ⇒収穫の喜びや作る難しさを知ると食に愛着を持てます!
- ③エコな買い方、商品を選ぶ ⇒無駄に買いすぎないこともエコ!「てまえどり※」など店頭にたくさん並ぶ食材をエコな視点で選んでみよう!

※買ってすぐに食べる時に、商品棚の手前にある賞味/消費期限の近い商品を選ぶ買い方

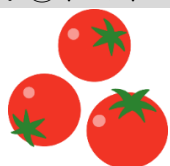
やってみよう!エコな取り組み!～野菜の選び方編～

今回は、③エコな野菜の選び方をテーマに、身近な取り組み例を紹介します!

★旬の野菜を選んでみよう!

夏野菜を冬に育てるには、ハウスを温める電気やガスのエネルギーが必要になります。旬の野菜はそのエネルギーを使わずに栽培されていることが多いため、旬野菜を積極的に選ぶことは、エコな買い物につながります。しかも、旬の野菜は栄養価も高く、値段も安くなるので、とってもお得です!

★旬の時期を調べてみよう! ①トマト ②カブ ③ホウレンソウ ④カボチャ



★エコマークの付いた商品を選んでみよう！

お店に並ぶ野菜を良く見てみると様々なシールが貼ってあります。

「有機 JAS」「ちばエコ」「あびこエコ」など化学合成農薬や化学肥料を削減したレベルに応じて、様々な認証制度があります。

現在、我孫子市ではあびこエコ農産物に貼ってある「あびこエコ農産物認証シール」(左下参照)を20枚集めて応募すると、抽選で「エコ農産物をプレゼントする」あびこエコ農産物応援キャンペーンを開催しています！この機会に、簡単なエコの取り組みから始めてみませんか？あびこエコ農産物をたくさん食べて、地元の農家を応援しながら、キャンペーンにも応募してみましよう！



認証シールデザイン



キャンペーン詳細
(市HP)

農業まつり & 農業体験こども写真コンクールのご案内！

今年で40回目を迎える我孫子市農業まつり！農業をもっと身近に感じてもらえるように農家と市民が交流できるイベントです。今回は初めて『農業体験こども写真コンクール』を開催します！学校や家庭菜園での農業を楽しんでいる様子を写真に撮って、ご応募ください！受賞者には豪華景品もあります！また、一部の作品は農業まつりで展示し、多くの方に農業の楽しさをPRする予定です。詳細は下記のQRコードからご確認ください。

応募期間：令和5年9月1日（金）～10月31日（火）

応募方法：メールアドレス（info@abiko-chisan.com）に、写真を添付して、写真の題名、氏名、学校名、学年、電話番号を明記

応募条件：18歳未満（令和5年4月1日時点）の方が行う農業体験の写真であること。応募者が我孫子市在住、在学であること（子の家族も応募可）※1人3点まで

表彰：最優秀賞、優秀賞、入賞（農業まつりで表彰、受賞者には11月上旬に連絡します。）



写真コンクール詳細
(市HP)



第40回 我孫子市農業まつり

11月18日（土）10：00頃～15：00頃

場所：手賀沼親水広場 水の館 多目的広場
(芝生広場)

主催：我孫子市農業まつり実行委員会

問合せ：我孫子市農政課 ☎04（7185）1481

※天候やその他の事情により、中止の可能性が
あります。

《問い合わせ》食育だより：我孫子市健康づくり支援課 電話 04（7185）1126

農業まつり・あびこエコ農産物：我孫子市農政課 電話 04（7185）1481